

はじめに

本編は以下のプロジェクト研究の成果の一つであります。

長い職業生活の中で、私たちは常に何らかの転換に直面せざるを得ません。ここでは、職業転換を離職してからの問題としてとらえるのではなく、在職中も含めたキャリア開発の問題としてとらえてみました。このキャリア開発という新たな「意味」を持たせた向上訓練コースの開発を目標として、平成元年度に共同研究施設である君津技能開発センターのおかれている労働市場の現状とそこに設定すべきコースイメージをさぐり、その結果を調査研究報告書第53号としてまとめました。

そして平成2年度に基本教材「表計算 Lotus 1-2-3」を開発し、教材情報資料第4号として既に各方面に配布したとおりです。これは特定の対象者用の向上訓練を想定してはいません。

平成3年度に、本テーマの対象者である中高年齢者にこの基本教材をいかにアプライするかを示すものとして、次の指導のためのマニュアル（1編）及び補助教材（2編）を開発しました。

- 1 指導マニュアル「表計算 Lotus 1-2-3 指導ポイント集」
- 2 補助教材（1）「表計算 Lotus 1-2-3 パソコン操作入門編」
- 3 補助教材（2）「表計算 Lotus 1-2-3 課題集（課題編／解答編）」

本編はその中の指導マニュアルであり、セット教材全体の構成を理解していただき、是非ご活用いただき、ご意見、ご批判を頂ければ幸甚です。

平成4年3月

プロジェクト研究

「職業転換にともなう教育訓練プログラムの開発」に関する委員会

委員氏名

君津技能開発センター

木 下 征 男

藤 井 光 明

瀧 原 祥 夫 （指導マニュアル執筆）

宇良田 慎 二 （補助教材執筆）

菊 池 吉 晴

職業訓練研修研究センター

熊 谷 茂 雄

岸 本 隆 臣

高 橋 辰 栄

---

---

## 使用にあたって

---

---

このテキスト集は、既に配布済みの基本教材「表計算 Lotus 1-2-3」を活用して能力開発セミナー等を展開する場合の指導に関するポイントをまとめたものです。

基本教材は、「誰にでも（中高齢者も含めて）」、「わかりやすく」、という主旨で作成されており、詳しい説明や応用例などは省かれています。また、学習対象者によってテキストの内容が変わるのではなく、対象者への対応は、指導法（補助資料や指導技法）で対処するというコンセプトで作成されています。

そのため対象者によっては説明不足であったり、物足りなさがあったり、基本教材で説明されていない部分の補足説明が必要となります。各指導員が創意工夫をしながら、補助資料を作成しなければならない。（当たり前のことだが）

新たなコースを展開する上での指導案づくり（授業の組み立てる）には時間を要します。このようなときに指導の手引きや指針のようなものがあれば、取り組みやすいし、時間も有効に活用できます。これが、このポイント集の意図であります。

また、受講生が理解しにくい部分は、指導のポイントとして表記してあります。単なる操作の方法の講習ではなく、Lotus1-2-3のみならず、表計算ソフトの考え方もあわせて記載してあるので参考にしてください。

本ポイント集が基本教材の行間を埋める（補足説明）のに役立ち、担当者による教材の開発（OHPなどの補助資料や課題）また、その資料づくりなどの1つの手引きとして活用していただければ幸いです。

ノウハウ集として指導者側へのアプローチとなりましたが、本集で示したものがすべてではなく、利用者の創意工夫の中からもっとよいものが作成されるであろう。これを契機に教材開発の和を広げていきましょう。 <執筆者>

なお、このポイント集では環境設定に関することは割愛します。例えば、EMSメモリの有無、かな漢字変換システムの違いなど設定項目が多くあり、EMSメモリに関する知識やMS-DOSの環境設定など周辺知識が必要になります。このテキストの開発では、この環境設定は上のレベルであると判断したためです。

教材情報資料 第4号の1

表計算Lotus 1-2-3  
指導ポイント集

発 行 1992年3月  
発 行 者 職業訓練研修研究センター  
所長 志賀 武彦  
〒229 神奈川県相模原市橋本台4-1-1  
電話 0427-61-2111(代)  
印 刷 株式会社 ワークワン  
〒229 相模原市中央3-8-5  
電話 0427-58-6091